

釧路都心部まちづくり計画 市民説明会の開催報告

1. 開催結果について

開催日	開催会場	開催時間	定員	参加者
7/29 (木)	中部地区コミュニティセンター コアかがやき	午後2:00 ～	50名	10名
8/ 3 (火)	東部地区コミュニティセンター コア大空		50名	3名
8/ 5 (木)	鳥取コミュニティセンター コア鳥取	午後4:00	30名	5名
8/16 (月)	釧路市観光国際交流センター		40名	13名
		参加者合計		31名

※ 釧路市観光国際交流センターについては、当初 8/10 (火)の開催を予定していたが、低気圧の接近による暴風警報の発表により、8/16 (月)へ延期した。

2. 説明内容について

○別添資料に基づいて説明

(報告事項 1 説明資料 2 を参照)

3. 質問・意見等について (抜粋)

【社会基盤のあり方に関する内容】

- 都心部を目的地としない通過交通を都心部の外に誘導するという方針や説明は、車の往來を抑制する閉鎖的なものであると感じる。
- 北大通などに設ける沿道アクセススペースはどのように活用する予定か。
- 土地区画整理で生み出される土地について、どのような活用を想定しているか。また、その中に三角形の土地が複数あるが、もっと使いやすい形状にすべきではないか。
- 共栄新橋大通から線路南側へ接続する道路の形状は現在の L 形案で確定なのか。これ以外にも様々な案があると思うが再考の余地はないか。

【社会基盤の維持管理に関する内容】

- 鉄道の高架や駅舎の建替え等について、整備費用や維持管理はそれぞれ誰が担うか。また、それらが完成した後の所有者は誰になるか。
- 駅前オープンスペースについて、温暖な地域であれば活用しやすいが、釧路市において冬季の活用や除雪等の管理についてはどのように考えているか。

【その他】

- 鉄道高架を基本とした都心部のまちづくりは高額な負担を伴う事業であり、釧路市の財政状況や、駅周辺と北大通の現状を踏まえると実施すべきでない。
- 釧路をより良くするための事業計画だとは思いますが、身の丈に合った内容で考えるべきである。
- 説明会の実施について、この時間帯には参加できない人も多いと思う。夜間の開催やネット環境での開催、配信等も検討してほしい。



説明会の開催の様子